

自己評価報告書

平成 23 年 7 月 15 日現在

機関番号：82512
研究種目：基盤研究(B)
研究期間：平成 20 年度 ～ 平成 23 年度
課題番号：20402029
研究課題名(和文) フィールド実験によるインドの貧困削減政策の分析
研究課題名(英文) Analysis of Poverty Reduction Policies with Field Experiments
研究代表者 伊藤成朗 (Ito Seiro)
日本貿易振興機構アジア経済研究所開発研究センターマイクロ経済分析研究グループ長
研究者番号：50450482

研究代表者の専門分野：開発経済学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：(1)貧困削減 (2)フィールド実験 (3)マイクロ保険 (4)農村医療

1. 研究計画の概要

本研究では、国連のミレニアム開発目標達成に取り組むインドにおいて、貧困削減に有効な政策をフィールド実験を用いて分析する。具体的には下記について研究する。

(1)マイクロ保険研究

本研究では、複数の仮説を検証するために、Karlán and Zinman (2007)の消費者金融フィールド実験を応用した実験を行う。保険販売後に保険を無料にすること、保険販売後に利用に応じた次回割引を適用すること、保険の無料提供、などを組み合わせることで、モラル・ハザード、逆選択の影響を計測する。さらに、貧困層の保険購入意欲が低いことを説明する要因として、リスク選好、現在バイアスなどをくじのフィールド実験を通じて計測する。これらの情報を用いて、貧困層の保険購入意志決定を解明する。

(2)マイクロクレジット研究

本研究では、貸付に効果があるか、返済頻度が高いことが返済率を高めているか、検討する。インドのマイクロファイナンス機関と提携して、貸付のフィールド実験、返済頻度変更のフィールド実験を実施して、その効果を確かめる。

(3)農村医療研究

本研究は、農村部の一次医療に関わる基礎的な情報を収集し、インド農村部に欠落している貧困層医療支出に関する包括的なデータベースを構築する。この情報を用いながら、貧困層の医療サービスへの需要を推定し、医療保険、医薬品、医療サービスの望ましい組み合わせを提起する。

2. 研究の進捗状況

(1)マイクロ保険研究

複数地点でのフィールド実験、計 5 回の家計調査を実施した。データ入力を済ませ、現在、データクリーニングと並行して論文執筆中である。

(2)マイクロクレジット研究

2 年目から開始の予定であったが、科研費申請当時に内諾を得ていたマイクロファイナンス機関の経営状態がリーマンショック後に悪化し、研究実施が困難となった。その後、複数のマイクロファイナンス機関に赴いて共同研究を打診したが、いずれも合意に至らず、本研究は中止した。

(3)農村医療研究

農村部の一次医療に関わるベースライン情報を家計から収集した。さらなるデータ収集に向けて、再度の調査を検討中であるが、実施は昨年度末に申請した繰り越しが認可されるかに依存する。

3. 現在までの達成度

計画した 3 研究のうち、マイクロクレジット研究を予定されていた提携先の経営状況悪化によって実施を断念した。マイクロ保険研究は計画通りに進行中。農村医療研究はベースライン調査を終えてフォローアップ調査を検討中。

(1)マイクロ保険研究

計画したデータ収集と実験は終了した。データのクリーニングと分析・論文執筆を実施中である。

(2)マイクロクレジット研究

中止。

(3)農村医療研究
ベースライン調査を終了した。

4. 今後の研究の推進方策

(1)マイクロ保険研究
データクリーニングと分析を続け、今年度中に結果をとりまとめて論文を執筆する。

(3)農村医療研究
繰り越し申請の許可が得られ次第、調査再開の手続きを開始して、今年度内にデータを収集する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

Seiro Ito and Hisaki Kono, “Why is Take-up of Microinsurance so Low? Evidence from a Health Insurance Scheme in India”, *Developing Economies*, Vol. 48, No.1, 2010, 74-101.

[学会発表] (計 3 件、未完 1 件)

1. Far Eastern and South Asia Meeting of the Econometric Society (2009, University of Tokyo)
2. Northeast Universities Development Consortium (NEUDC) (2009, Tufts University)
3. 国際開発学会第 20 回全国大会(2009 年、立命館アジア太平洋大学)
4. 米国経済学会(2010 年 1 月、於アトランタ): 論文は受け付けられたが、報告者急病にて当日の報告取りやめ

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]